

大志の学び舎

世田谷区立太子堂小学校



『教師は授業 家庭は愛情 地域で育つ 9年間』

9月の目標

人格の完成を目指して
「勇気」

<安全>

- ・地震から身を守ろう。

<保健>

- ・睡眠や休養をしっかり取ろう。

<給食>

- ・食後は休養を取ろう。

<挨拶>

- ・気持ちのよい挨拶をしよう。

言葉の奥深さ

校長 廣瀬 維謙

例年以上に「猛暑・酷暑・熱中症」という言葉が、テレビや新聞で何度も繰り返されるほど、本当に暑い7・8月でした。そのような中での44日間の夏休み、大きな事故やけがの報告がなく、元気に始業式を迎えたことを嬉しく思います。

さて、「一秒の言葉」という詩を御存知でしょうか。

一秒の言葉 小泉 吉弘

「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に、

一生のときめきを感じことがある。

「ありがとう」この一秒ほどの短い言葉に、人の優しさを知ることがある。

「がんばって」この一秒ほどの短い言葉で、

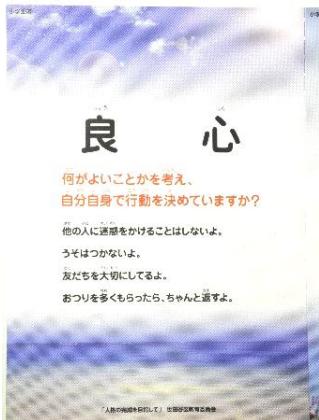
勇気がよみがえってくることがある。

「おめでとう」この一秒ほどの短い言葉で、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。

「さようなら」この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。一生懸命、一秒



〒154-0004

世田谷区太子堂5-7-4

電話 03 (3413) 4621

FAX 03 (3413) 4799

この詩は、昭和60年の大晦日に1回だけ放送された時計会社のコマーシャルで紹介されたものです。商品名は出さずに、学校の校舎をバックに小泉さんがお作りになったこの詩が流されました。この詩に多くの人々が感銘を受け、大きな反響を呼びました。その後、道徳の教材で使われたり、令和2年には新たなバージョンが制作されたりしました。この詩で紹介されている「はじめまして」や「ありがとう」などの言葉は、ほんの1秒で自分の思いを伝えることができる奥深い言葉です。

2学期をスタートするに当たり、日頃何気なく使っている言葉の重みを改めて大事にしたいと思います。相手に対する感謝やねぎらい、励ましの気持ちを伝えるとき、私たちは言葉を通して伝えます。同じ言葉でも話し手の伝え方によって印象は大きく異なります。

例えば、心から感謝の気持ちを伝えたいときは、多くの場合、優しい眼差しと明るい声で、「ありがとう」と伝えていることでしょう。言葉を媒介としながらも、表情や声のトーンなど、体全体を使って自分の気持ちを伝えていることから、言葉の選び方と同時に言葉の伝え方も大切になってきます。「一秒の言葉」に表されている「言葉の力」を子どもたちが身に付けられるよう、教育活動全体で取り組んでまいります。

2学期もどうぞよろしくお願ひいたします。